

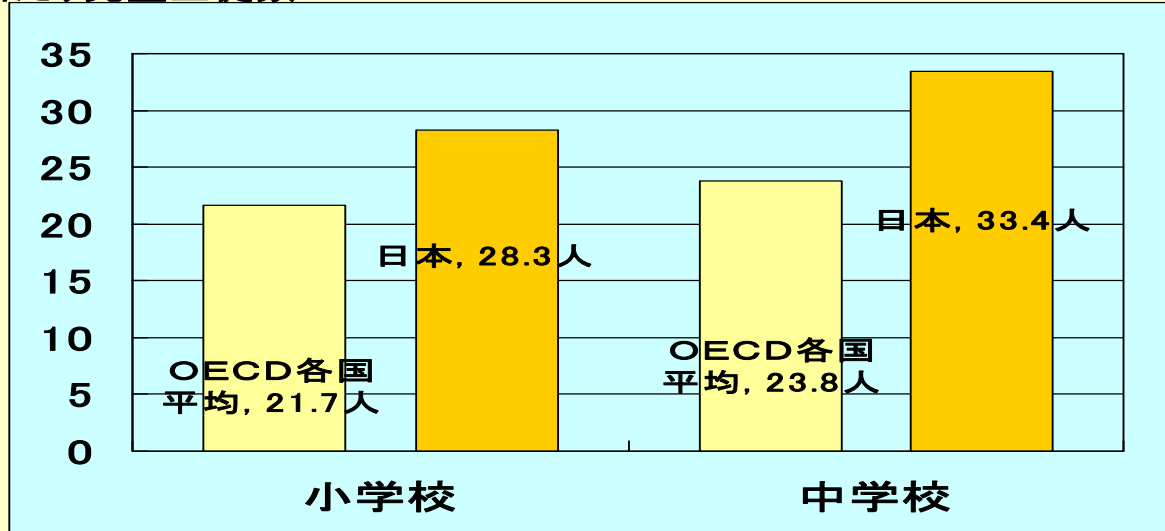
# 教職員をめぐる状況

## ～ 目次 ～

- 我が国の教育条件は国際水準に達していない …… 1
- 学校現場が抱える問題は年々困難になっている …… 2
- 教員はますます多忙になっている …… 8
- 教員の給与は高くない ……13
- 教員の人材確保が難しくなっている ……14
- 児童生徒1人当たりのコストが高くなっている ……16

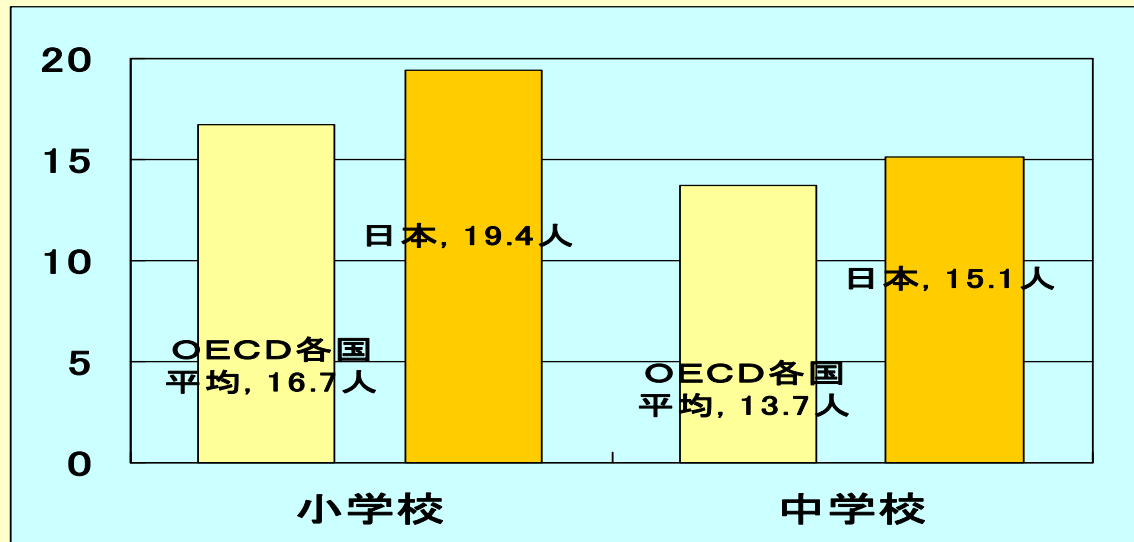
# 我が国の教育条件は国際水準に達していない

## (1) 一学級当たり児童生徒数



出典: OECDインデックス2007年度版

## (2) 教員一人当たり児童生徒数



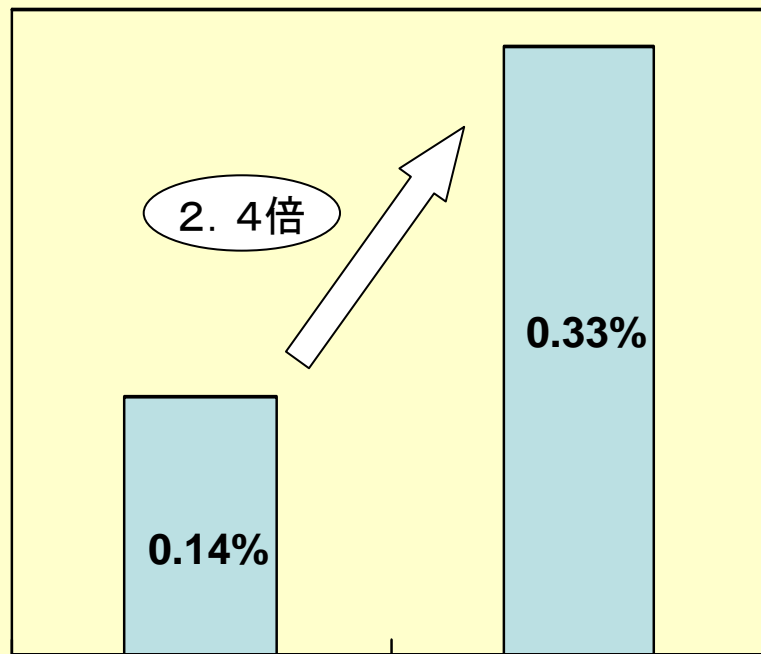
出典: OECDインデックス2007年度版

# 学校現場が抱える問題は年々困難になっている

## 1. 問題を抱えた子どもが増えている

### (1) 不登校児童生徒の割合

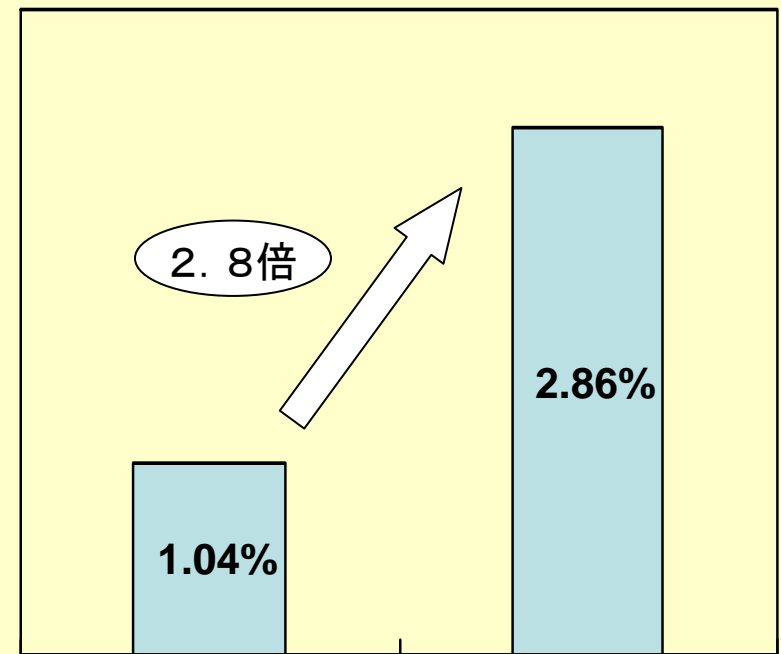
小学校



平成3年度

平成18年度

中学校



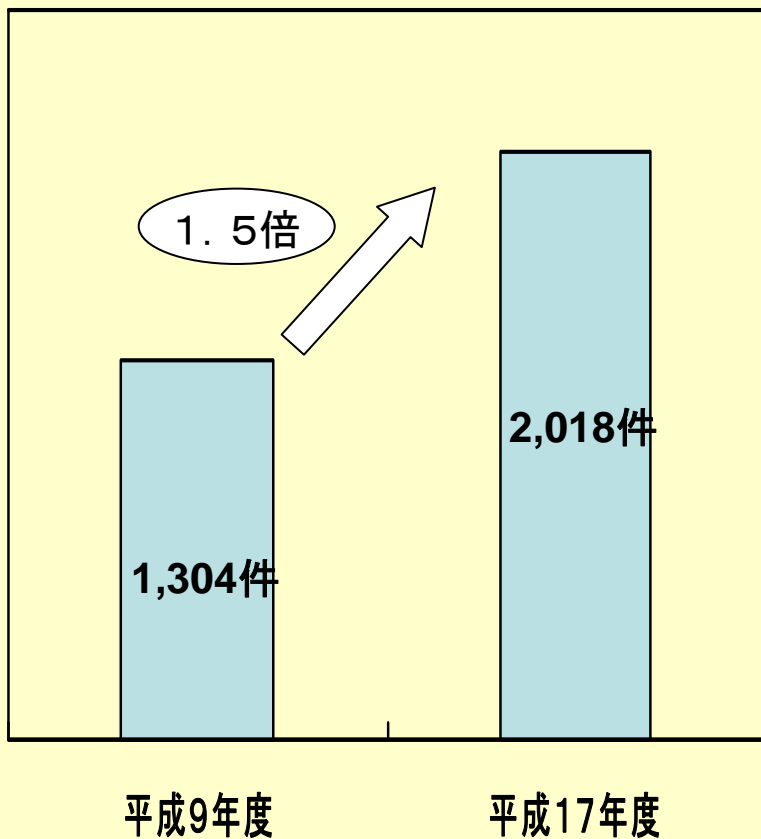
平成3年度

平成18年度

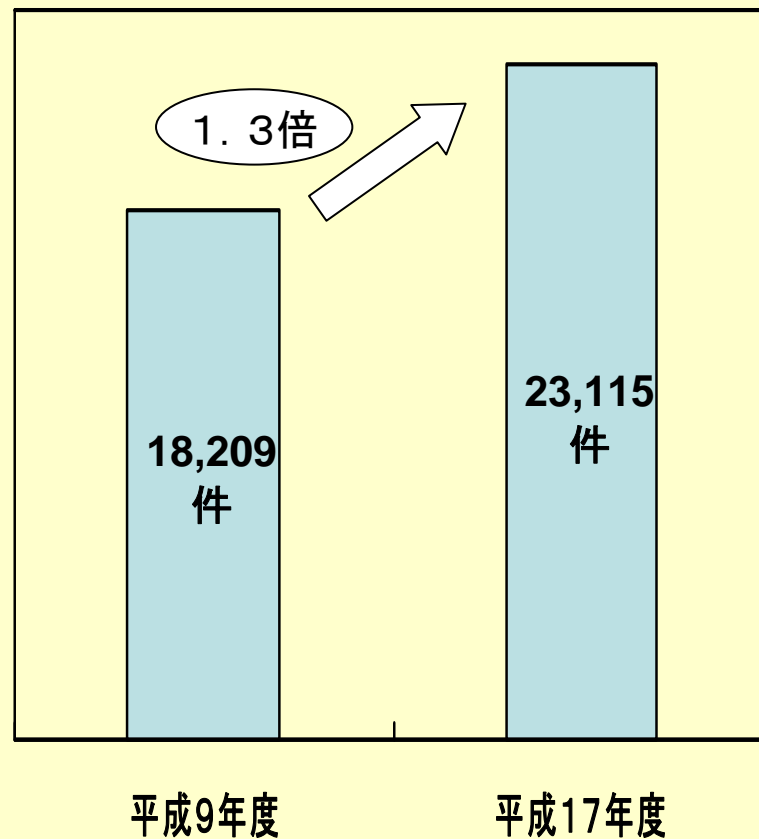
出典: 文部科学省「平成18年度生徒指導上の諸問題の現状(不登校)について(8月速報値)」

## (2)学校内での暴力行為の件数

小学校

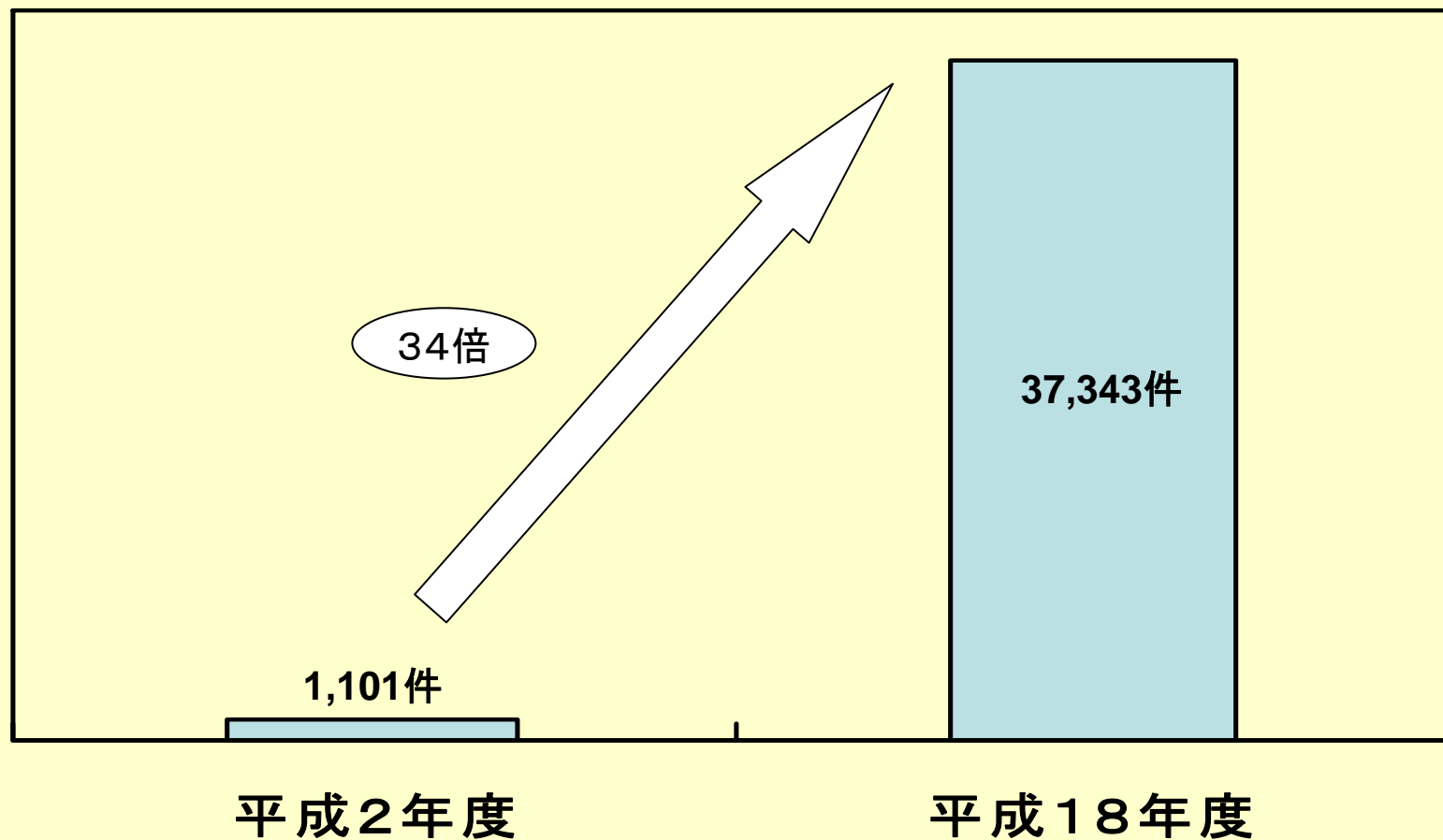


中学校



出典:文部科学省「生徒指導上の諸問題の現状について」

### (3)児童虐待の相談処理件数

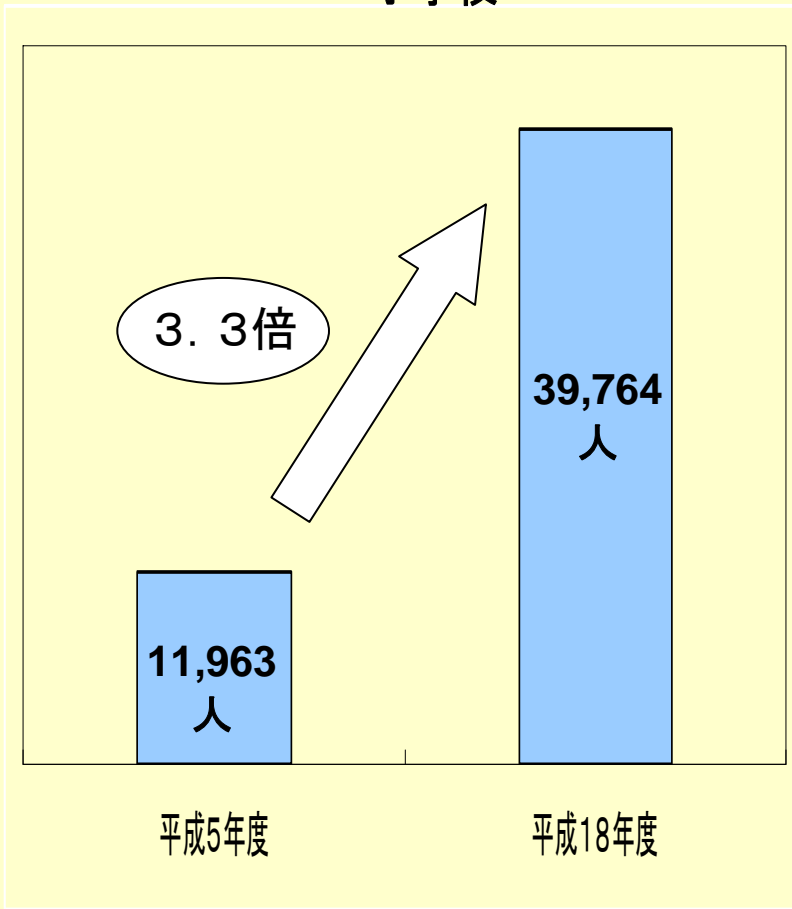


出典：厚生労働省「児童相談所における児童虐待相談対応件数等」

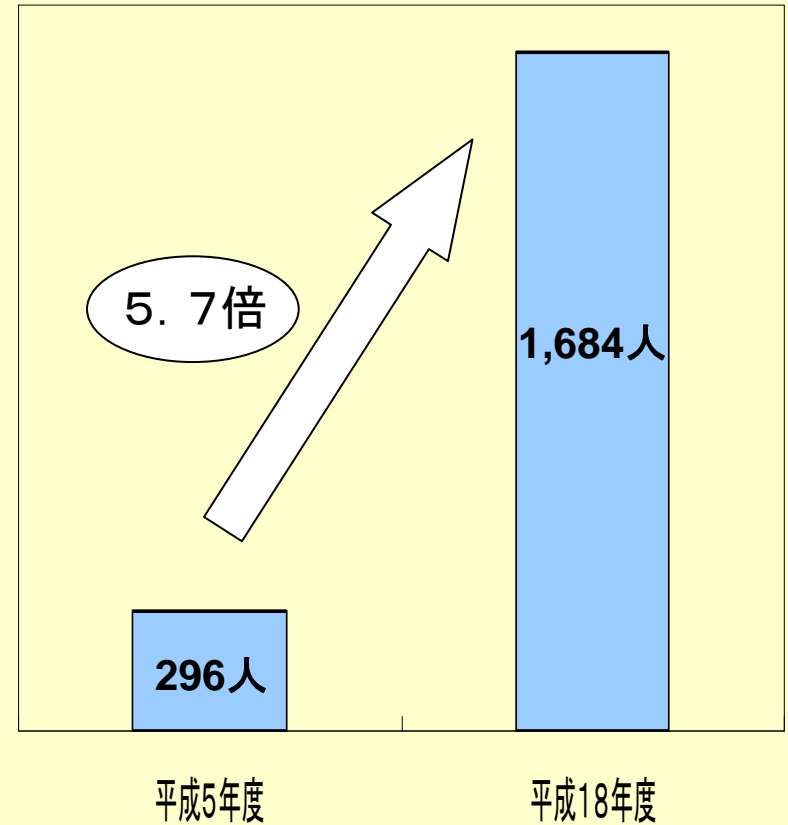
## 2. 特別なケアが必要な子どもが増えている

### (1) 通級による指導を受けている児童生徒数

小学校



中学校

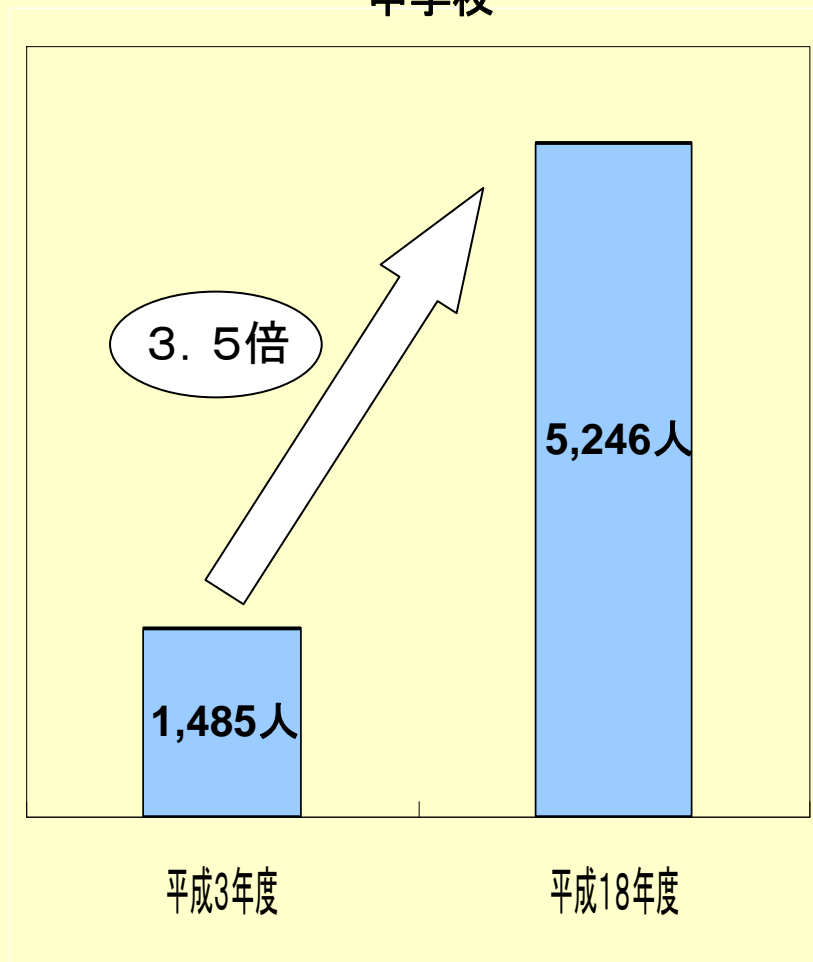
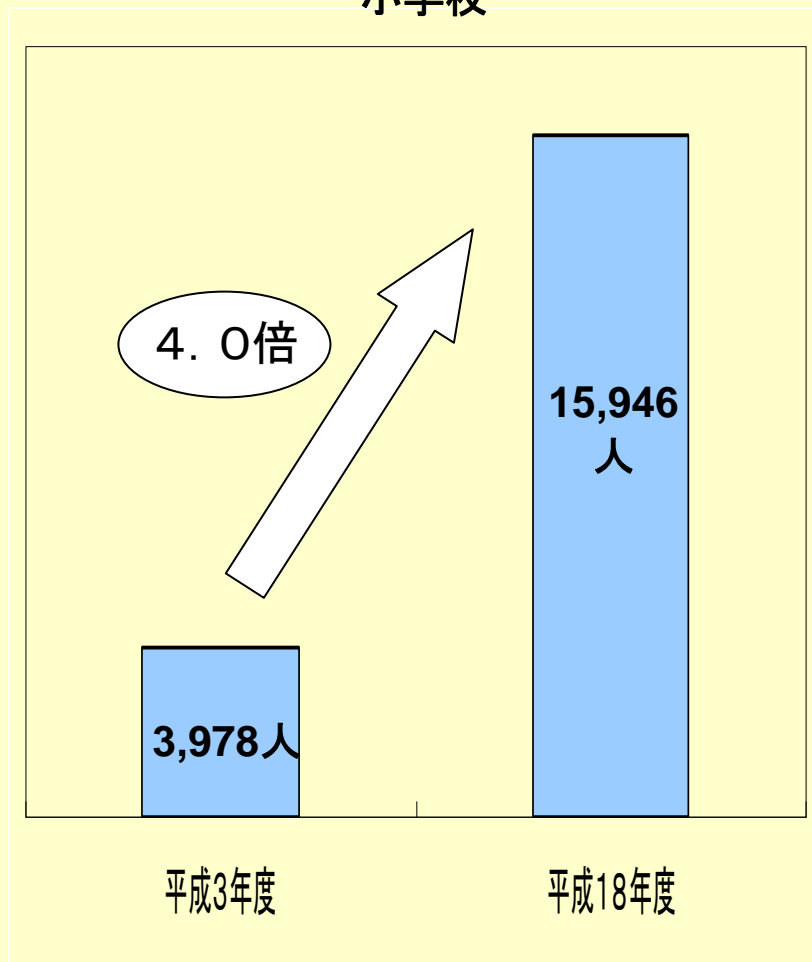


出典：文部科学省初等中等教育局特別支援教育課「特別支援教育資料」

## (2)日本語指導が必要な外国人児童生徒数

小学校

中学校

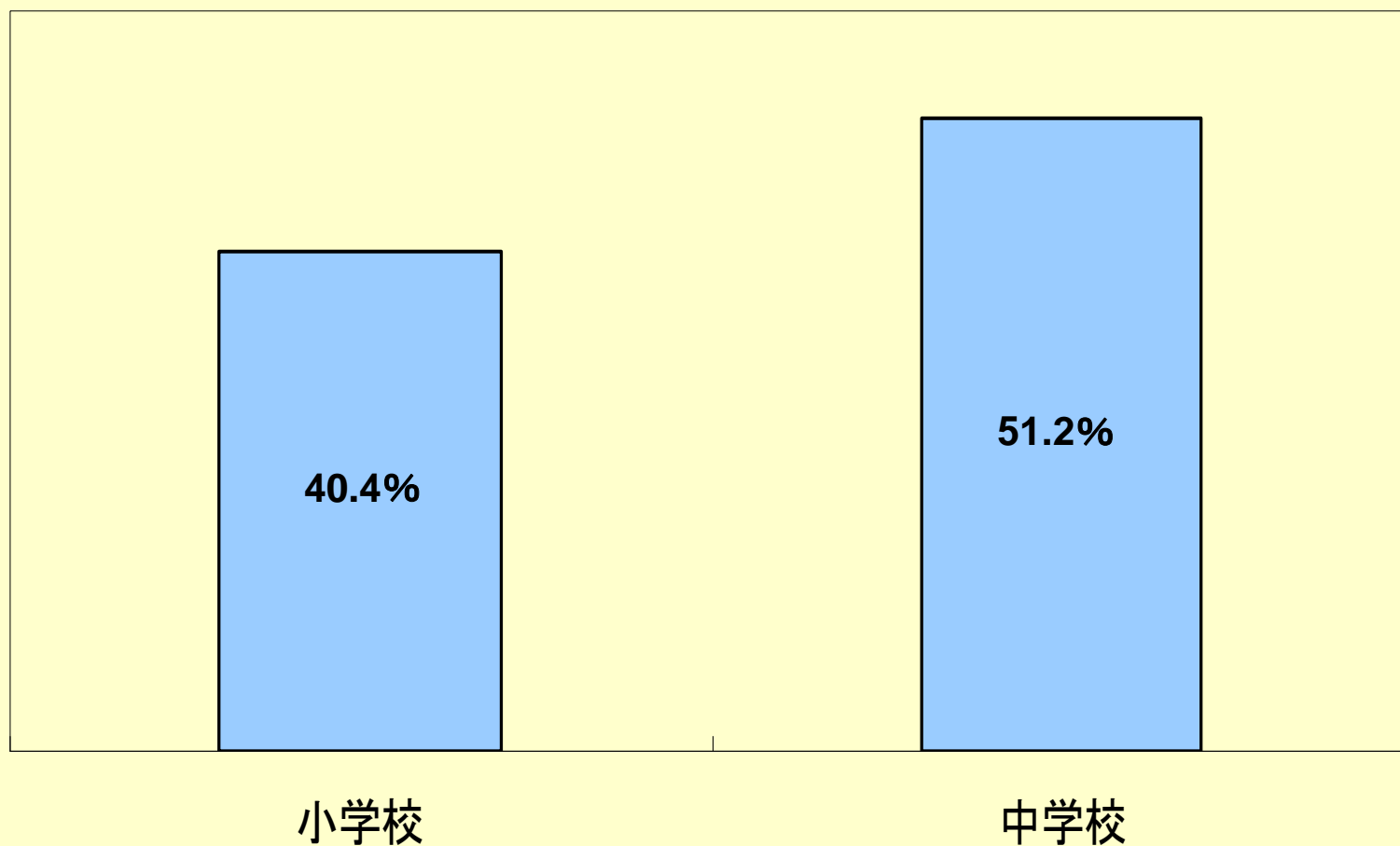


出典:文部科学省「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査」



### 3. 対応が困難な保護者が増えている

学校給食費を払わない保護者がいる学校の割合(平成18年度調査)

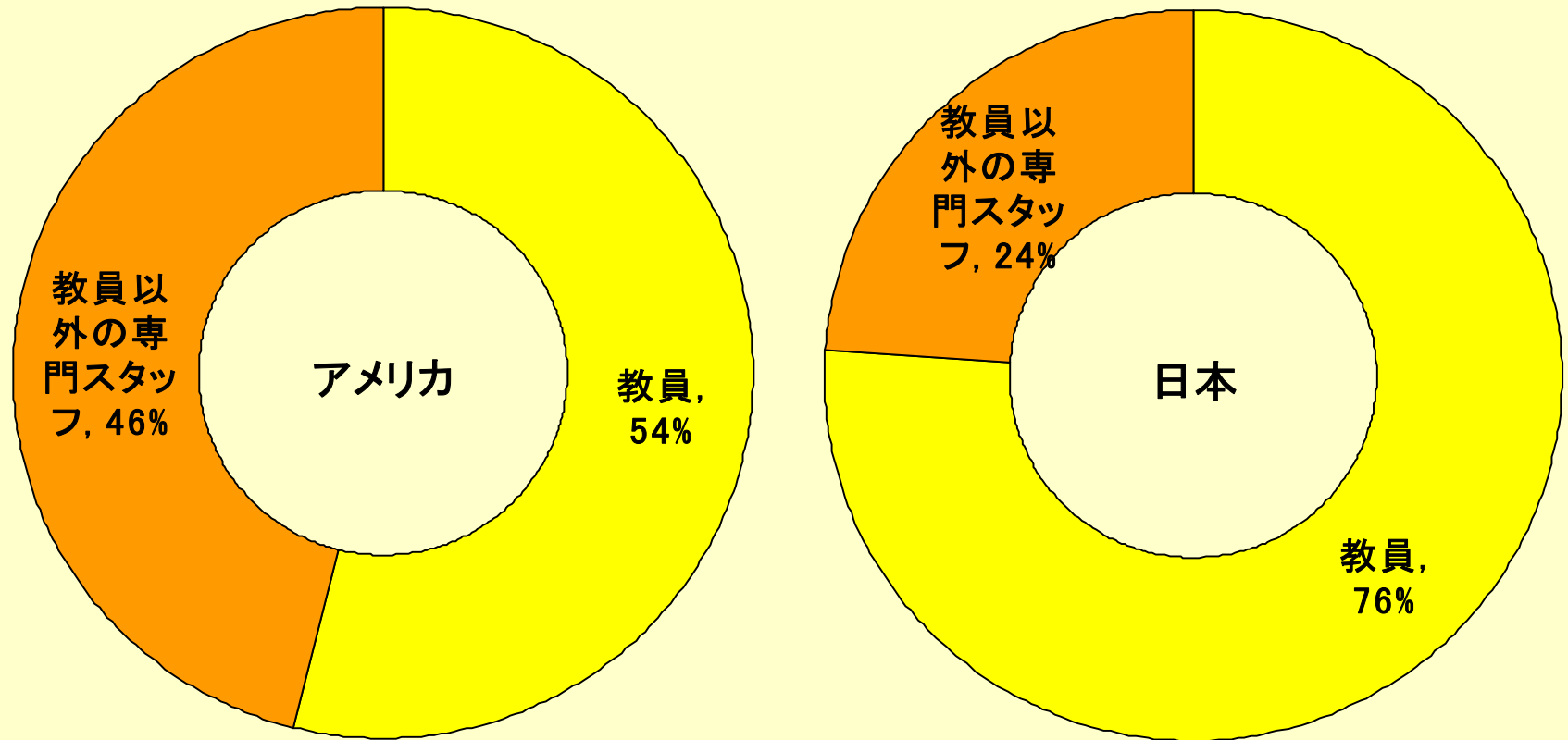


出典:文部科学省「学校給食費の徴収状況に関する調査」

# 教員はますます多忙になっている

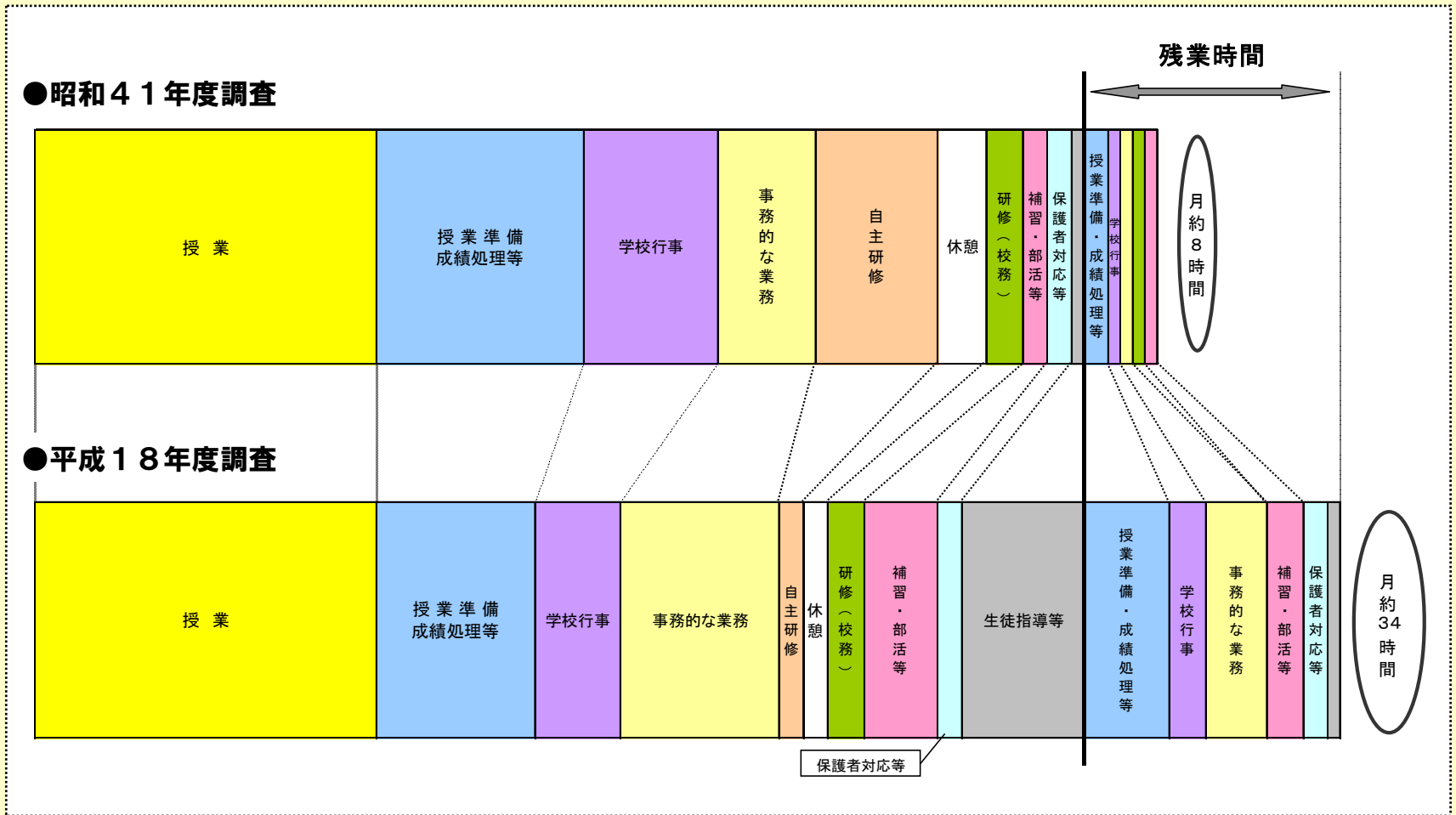
## 1. 我が国の教員は授業以外の業務負担が多い

### (1)教職員総数に占める教員以外の専門スタッフの割合



出典:平成18年度学校基本調査、諸外国の教員(平成18年3月)文部科学省

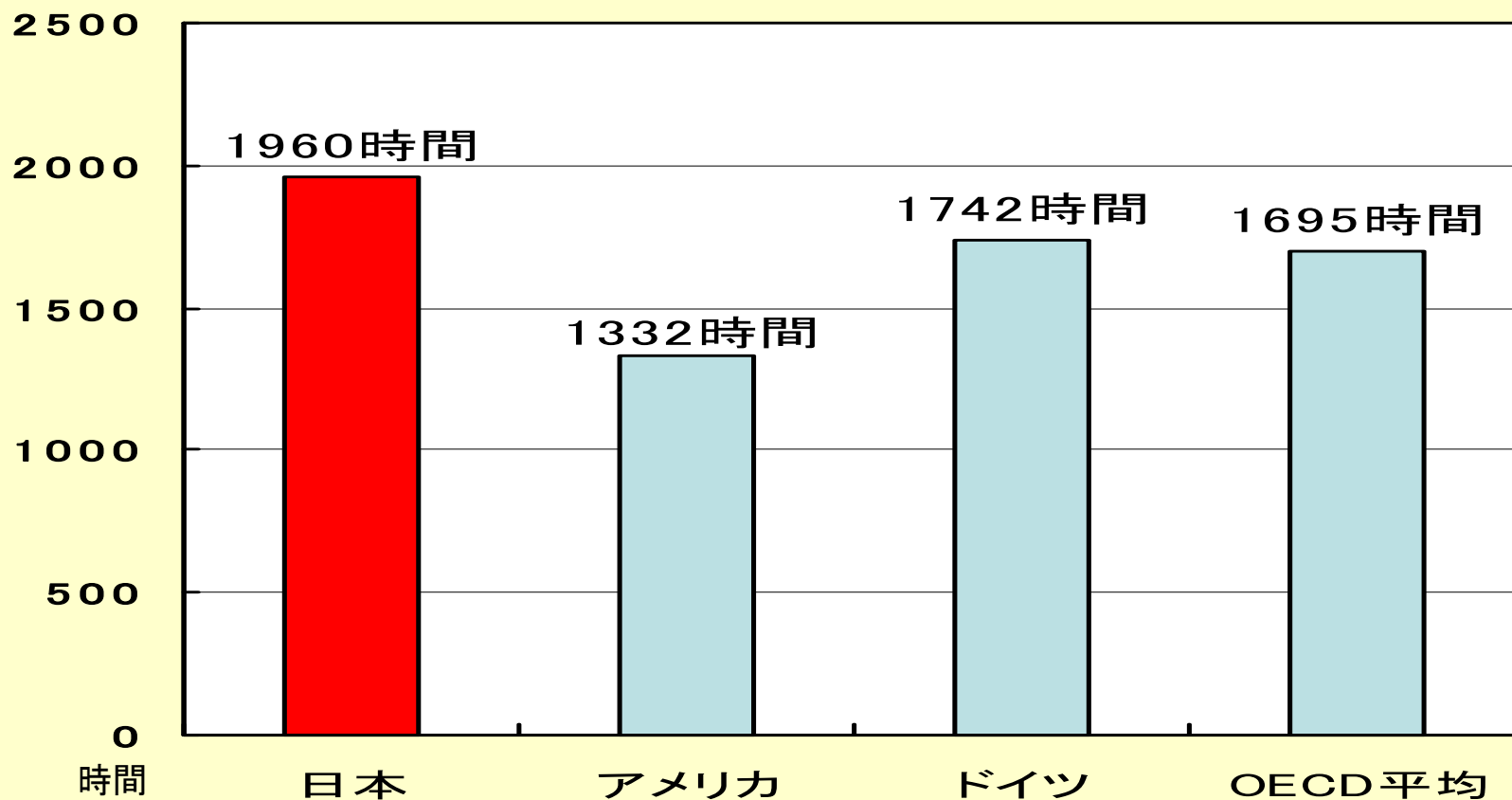
## (2)教員勤務実態調査(昭和41年度調査と平成18年度調査の比較)



・昭和41年度と比べ、「事務的な業務」、「生徒指導等」、「補習・部活動等」の業務が増えている。

## 2. 我が国の教員は勤務時間が長い

### 初等教育における教員の法定勤務時間数

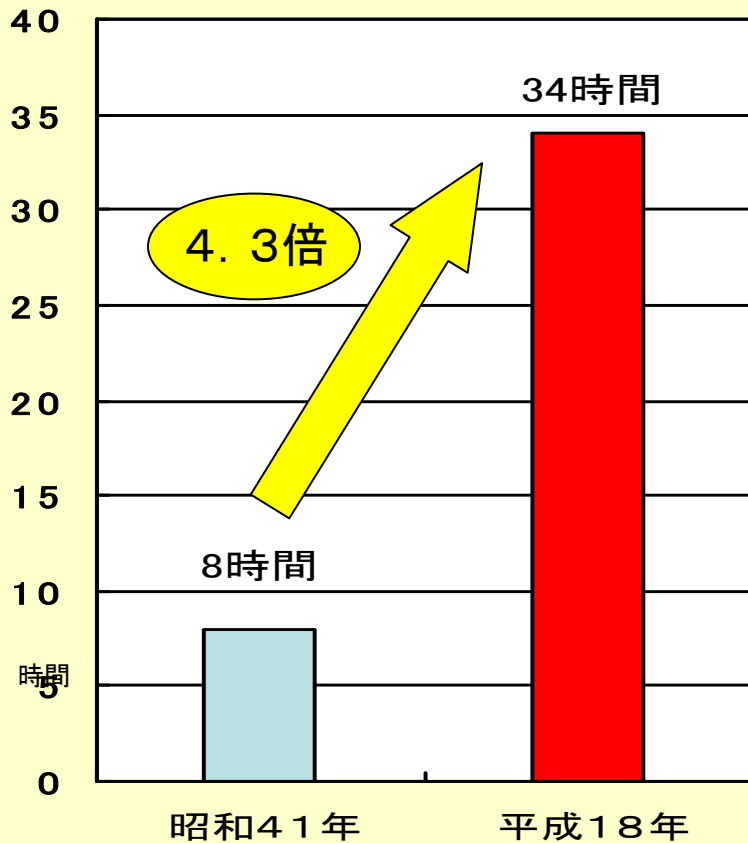


※米国は、法定勤務時間数に関するデータがないため、学校内勤務時間数(授業時間および授業以外の時間も含めて、教員が学校内にいなければならないとされている時間)を記載した。

(出典)OECDインディケータ2007年度版

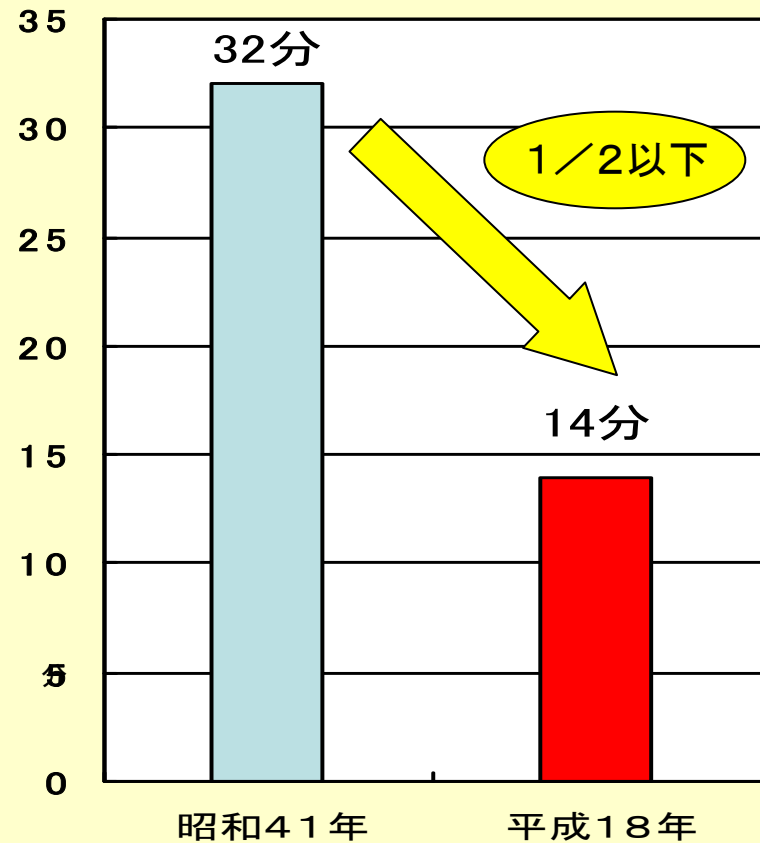
### 3. 残業時間が大幅に増えている

年間ベースの1ヶ月あたり残業時間



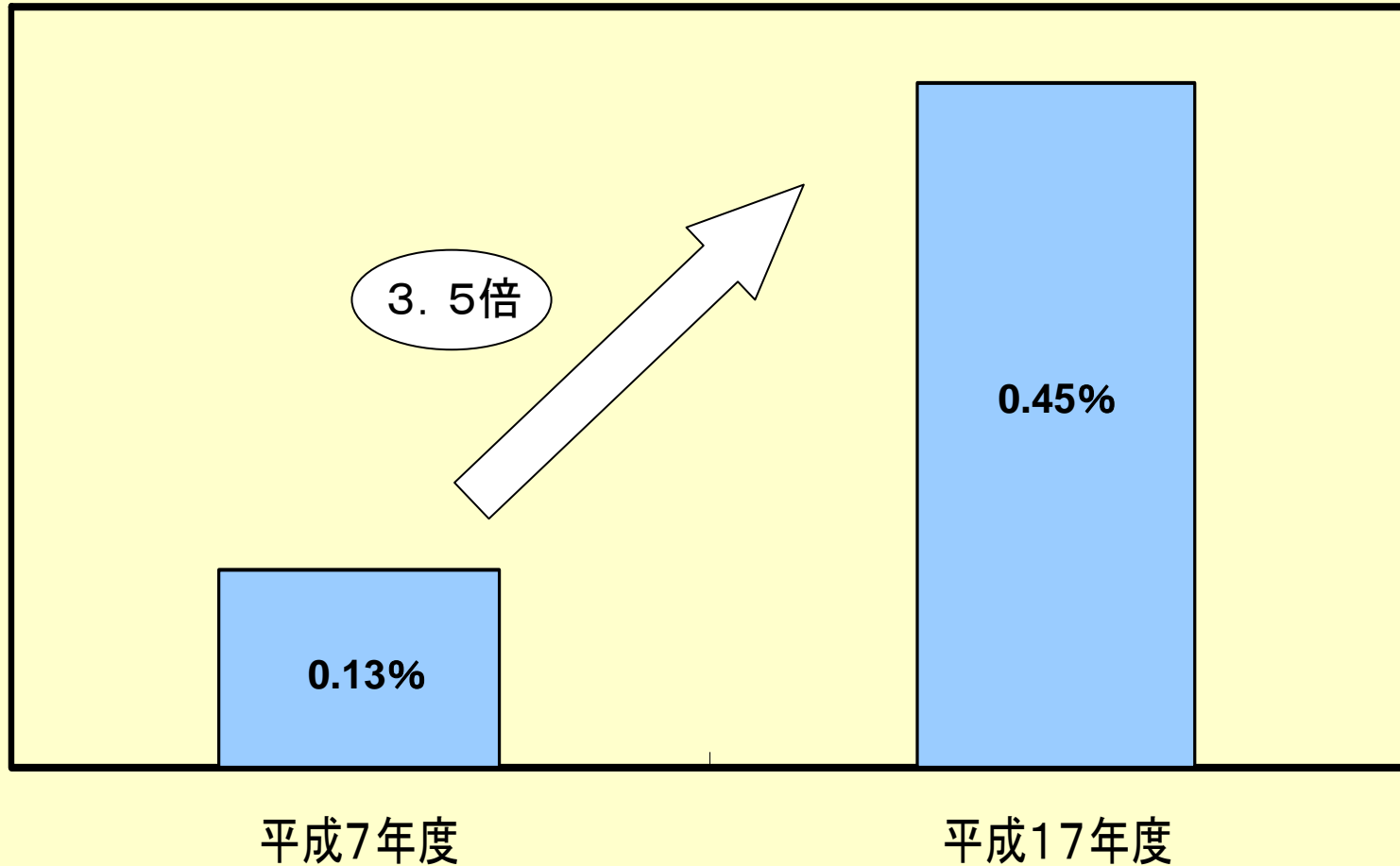
### 4. 休憩時間がほとんどとれなくなっている

年間ベースの1日あたり休憩時間



## 5. 教員の精神性疾患が急増している

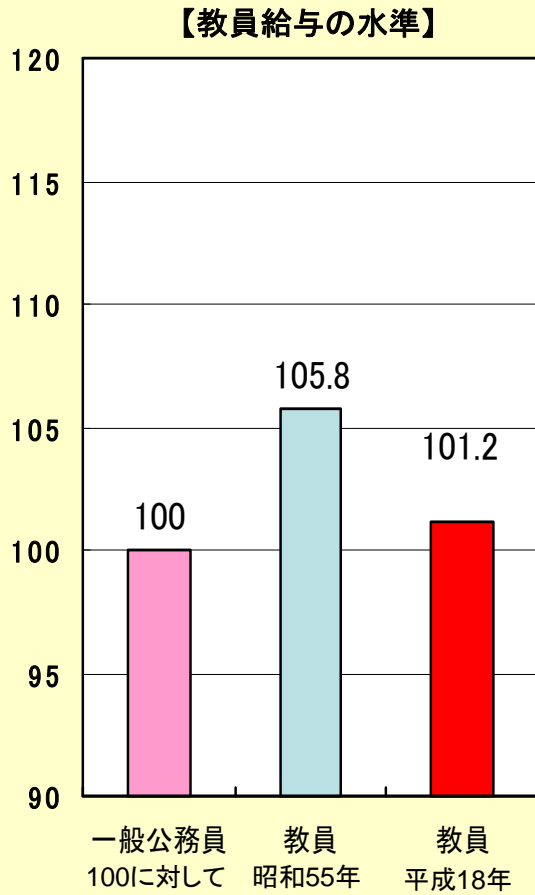
### 教職員数に占める精神性疾患の割合



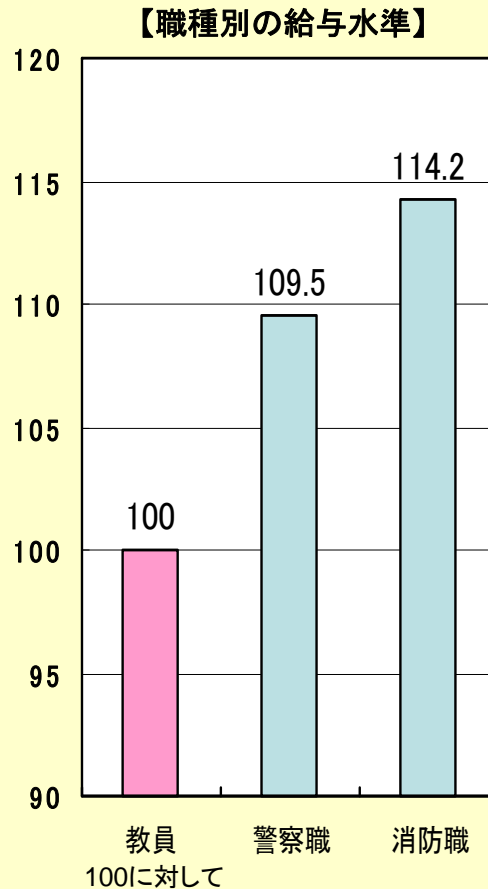
(出典)文部科学省「教育職員に係る懲戒処分等に関する調査」

# 教員の給与は高くない

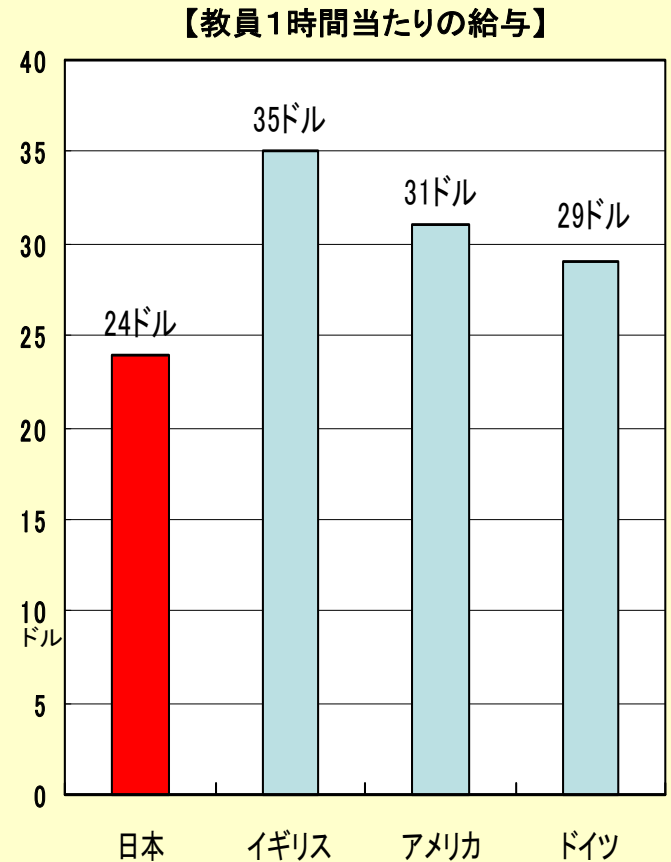
1. 一般公務員との差が縮まってきている



2. 警察職・消防職を大きく下回っている



3. 勤務時間1時間当たりの給与は他の先進国より低い



(出典)総務省「地方公務員給与実態調査」

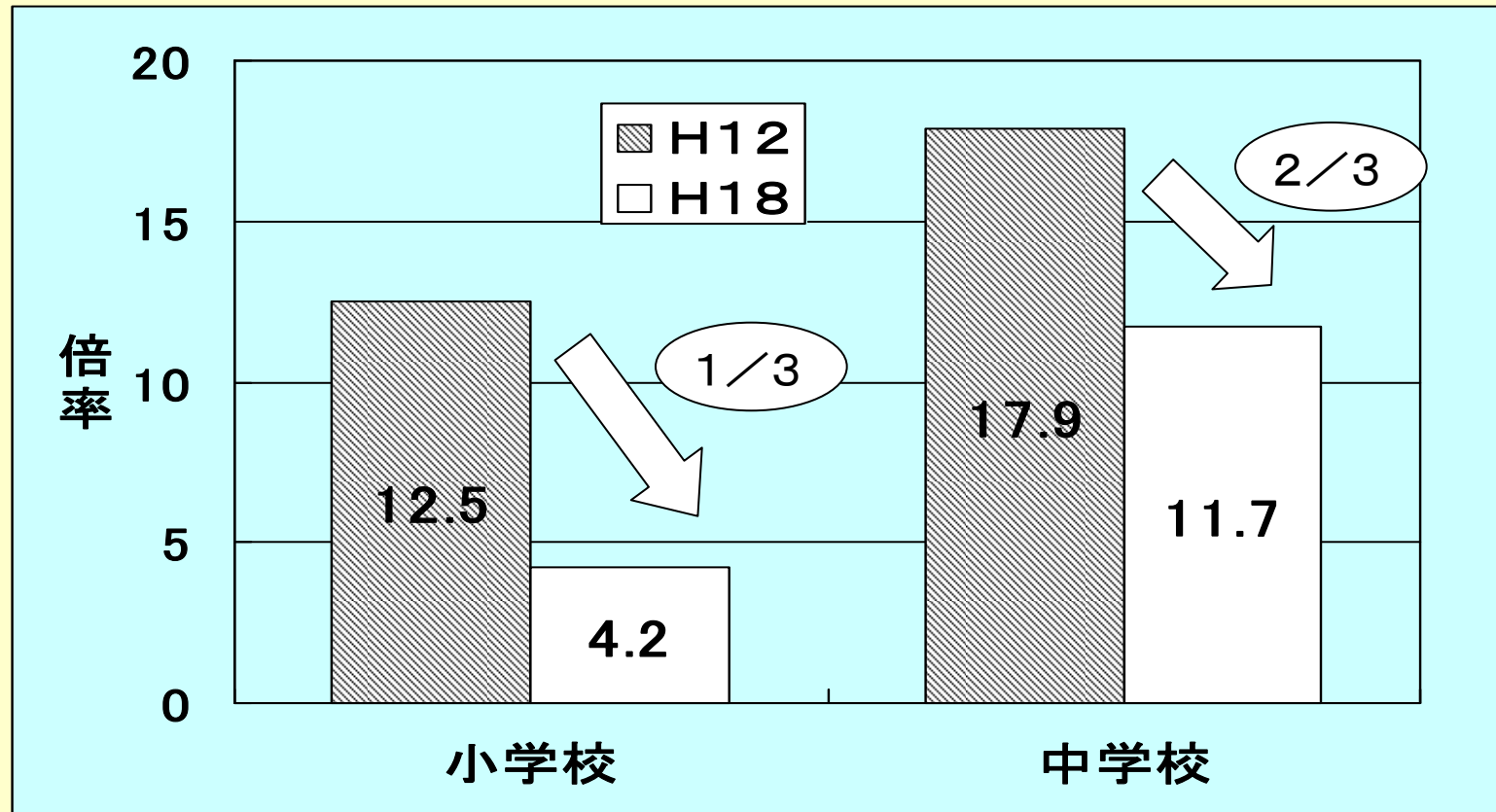
(出典)総務省「平成18年地方公務員給与実態調査」

(出典)OECDインディケータ(2007年度版)

# 教員の人材確保が難しくなっている

## 1. 教員採用試験の倍率が下がってきている

平成18年度公立学校教員採用選考試験の実施状況(採用倍率)

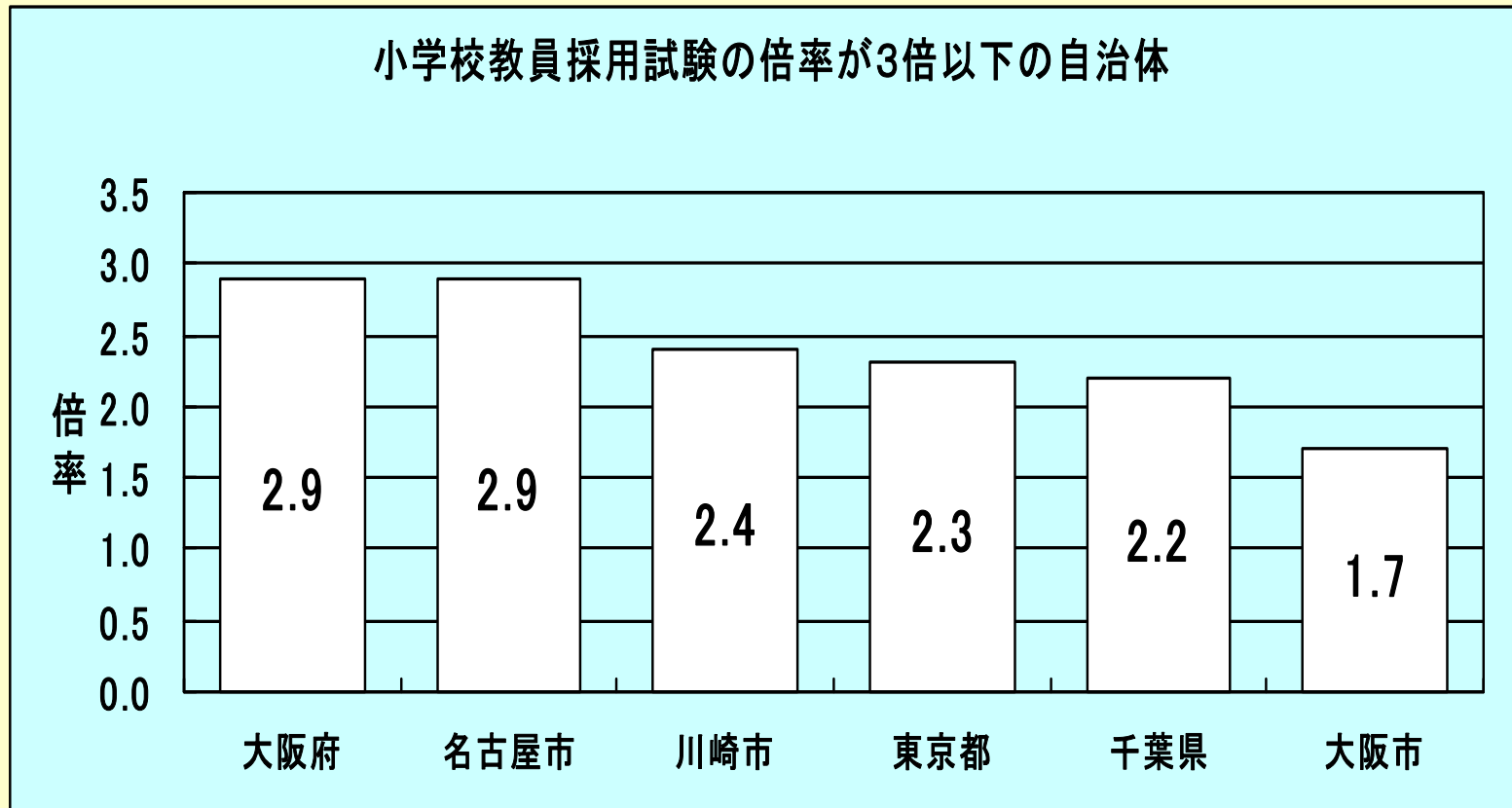


出典: 文部科学省「公立学校教員採用選考試験の実施状況について」



## 2. 特に都市部の小学校教員の確保が危機的状況になりつつある

### 平成18年度公立学校教員採用選考試験の実施状況(小学校競争率)



注1) 名古屋市は併願者を除いた倍率(併願者を含めると3.2倍)

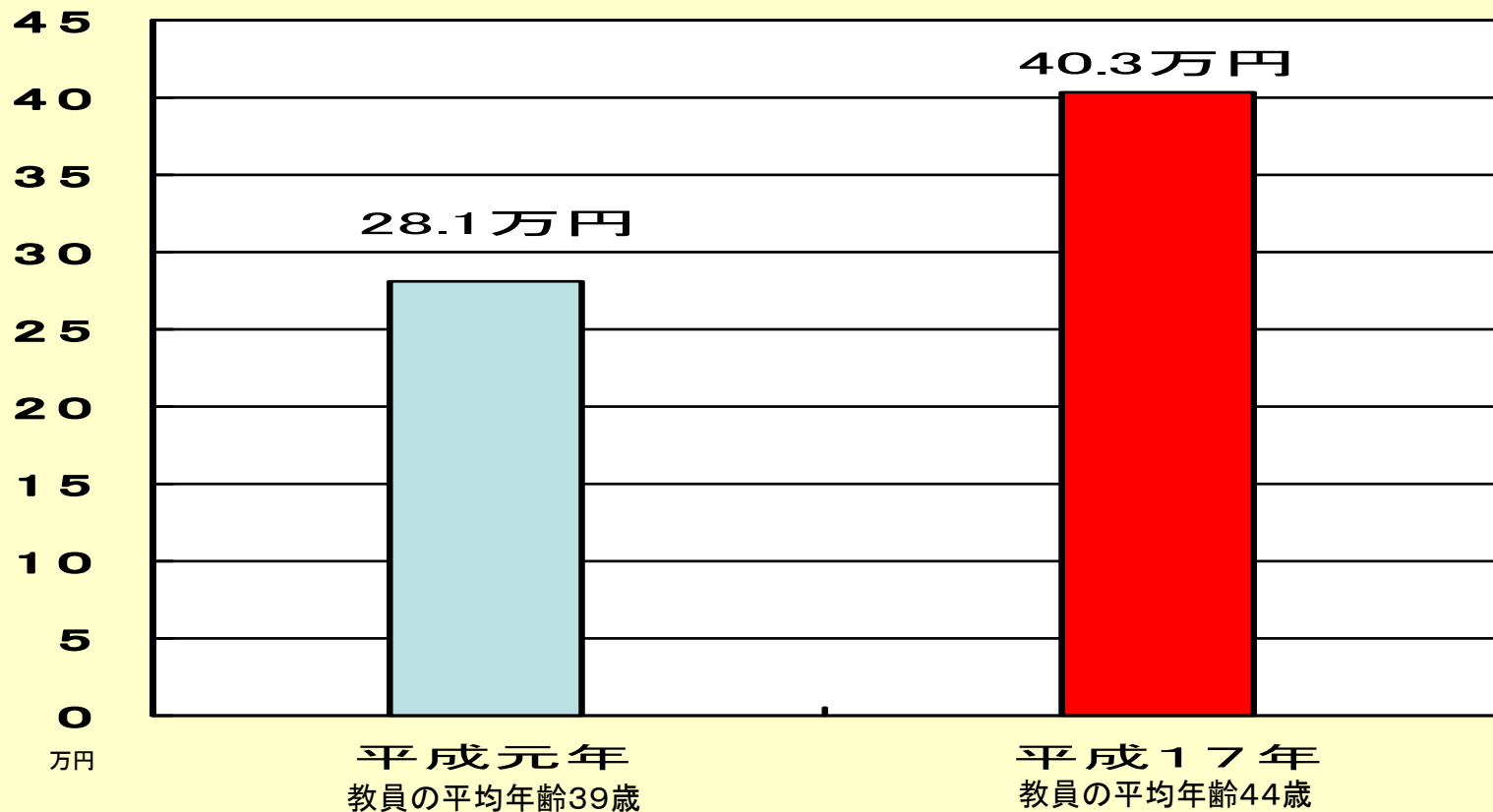
注2) 大阪市は一次免除者を除いた倍率(一次免除者を含めると2.0倍)

出典: 文部科学省「公立学校教員採用選考試験の実施状況について

# 児童生徒 1 人当たりのコストが高くなっている

## 1. 教員の平均年齢が上がるとコストが高くなる

### 教員の平均給与月額比較(平均年齢における比較)



(出典)総務省「地方公務員給与実態調査」

## 2. 学校規模が小規模になるとコストが高くなる

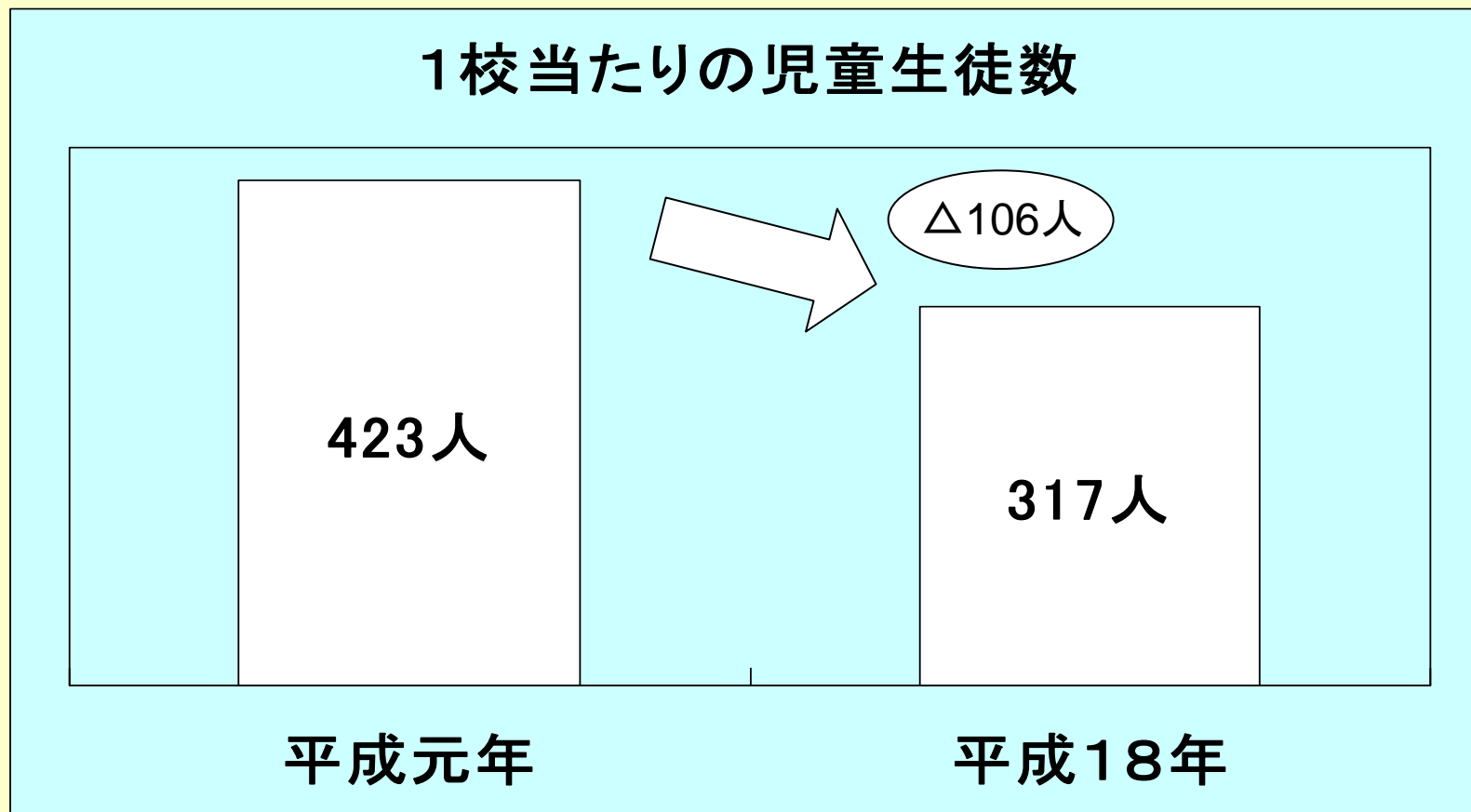
児童生徒にかかるコスト(学校規模における比較)(公立小・中学校)

	埼玉県(学校規模最大)	高知県(学校規模最小)
児童生徒40人当たり 本務教員数	2.08人	3.88人
児童生徒1人当たり 学校教育費	74万円	118万円

出典:平成18年度学校基本調査、平成18年度地方教育費調査(H17会計年度)

### 3. 学校規模が縮小してきている

1校当たりの児童生徒数(公立小・中学校)



出典:学校基本調査